



飯田市の「おひさま進歩エネルギー」の出資の仕組み

おひさま進歩エネルギー株式会社HPより引用

2. ESCO方式

施設のエネルギーの専門診断結果をもとに、省エネルギー設備や新エネルギーシステムを導入し、光熱費の削減分で導入コスト回収や利益を得ていく事業である。下図のように、ESCO、クライアント（対象施設等所有者）の双方にとって経済的なメリットが生ずるとともに、環境負荷を削減することができる。

国内では、サービスを全国展開する専門事業者が、大規模施設、工場などを中心に事業を手がけているが、欧州などでは地元の企業や市民が出資して地域に根ざした事業も展開されている。国内では、長野県飯田市において商店街を対象とした市民共同出資型の事業が展開されている。

